

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第12号）について（送付）
八代地域で3月25日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策
を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

今年の越冬世代（幼虫+蛹）の発生密度は平年より少なく、発蛾最盛日は4月6日と予測される（平年より4日早い）。
防除は、粒剤では発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日の7日後を目安に7日間隔で2～3回行う。

1 調査方法

- (1) 調査時期 令和8年（2026年）3月25日
- (2) 調査地点 八代地域12ほ場（表1）
- (3) 調査方法 各地域100株の被害茎数および幼虫、蛹数を見取りで計数した。
なお、蛹化率の算出には100株以上を調査した。

2 結果

- (1) 幼虫及び蛹の密度は0.7頭/10㎡（平年2.8頭/10㎡）と平年比少であった（表1、図1）。
- (2) 3月25日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年よりやや高く、発蛾最盛日は、平年より4日早い4月6日と予測された（表2）。

3 防除対策

- (1) 「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に発生する第1世代幼虫に対する防除を徹底する。
- (2) 防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にする。なお、気温の変動によっては羽化のタイミングがばらつくので、発蛾最盛日から7日間隔で2～3回の防除を行う。
- (3) 予測される発蛾最盛日は、ほ場によって差が生じるので、ほ場内の発生状況をよく観察し、防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報（発蛾最盛日予測、予察灯データ）については、4月から病虫害防除所ホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に随時掲載する。

表1 イグサシンムシガ越冬密度と被害状況（調査日：令和8年3月25日）

| No. | 市町村名 | 地点名 | 調査株数 | 被害茎数 | 幼虫数 | 蛹数 | 合計 | 頭数/10m ² (幼虫+蛹) | 茎数/株 |
|-----|------|-----|-------|------|-----|----|----|-------------------------------|-------|
| 1 | 氷川町 | 中島 | 100 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 47.8 |
| 2 | | 鹿野 | 100 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2.8 | 73.4 |
| 3 | | 網道 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 78.4 |
| 4 | 八代市 | 両出 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 78.8 |
| 5 | | 鏡村 | 100 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 97.8 |
| 6 | | 北新地 | 100 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 107.2 |
| 7 | | 古閑出 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 76.4 |
| 8 | | 太牟田 | 100 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 73.0 |
| 9 | | 吉王丸 | 100 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 76.4 |
| 10 | | 松高 | 100 | 0 | 1 | 1 | 2 | 5.6 | 58.6 |
| 11 | | 金剛 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 83.6 |
| 12 | | 日奈久 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 32.6 |
| 計 | | | 1,200 | 19 | 1 | 2 | 3 | 0.7 | 73.7 |
| 平年 | | | 1,550 | 47 | 9 | 7 | 16 | 2.8 | |

注) 栽植密度は280株/10m²とした

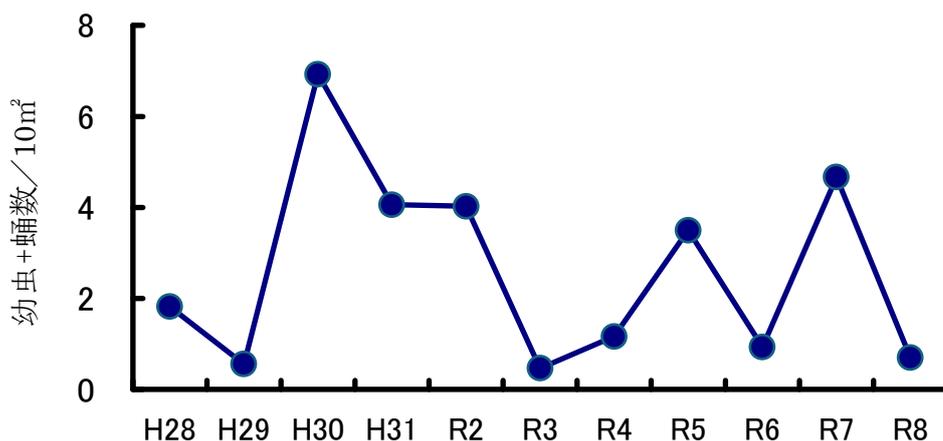


図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫+蛹密度の年次推移（八代地域）

表2 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

| 年次 | 調査日 | 蛹化率 (%) | 発蛾最盛予測日 (実測日) |
|----|-------|---------|---------------|
| 本年 | 3月25日 | 50.0 | 4月6日 |
| 前年 | 3月24日 | 31.7 | 4月11日 (12日) |
| 平年 | 3月24日 | 38.9 | 4月10日 (11日) |

注) 蛹化率：(蛹数/ (幼虫数+蛹数)) × 100

幼虫、蛹数は、全地点の合計（一部ほ場では対象100株以外で確認した数を含む）。

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数（傾き）」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数（切片）」を用いた予測式

発蛾最盛日 = 調査日の蛹化率 (%) × (-0.2993) + (27.148) - (31日 - 調査日)

実測日：乾式予察灯（地点：八代市千丁、鏡）で4月に誘殺のピークが見られた日

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所（農業研究センター生産環境研究所内）

担当：守田 TEL: 096-248-6490